

第1号議案

令和8年度事業計画並びに収支予算について

令和8年度事業計画（案）

今年度の重点取組

I. 事業方針

主食用米の価格動向、令和9年度からの水田政策の見直し、種子生産者の経営実態を踏まえながら、稲麦大豆の優良種子が県内で安定的に生産、供給できるよう適時・的確に取り組めます。

また、種子品質の向上とリスク管理の強化に重点的に取り組むとともに、県内の種子産地が将来にわたって維持・発展していくための具体的対応策の検討を進めます。

II. 実施事業

1. 優良種子の安定生産・安定供給

主要農作物振興の基盤となる優良種子の安定生産・安定供給を図るため、計画的な種子生産と生産指導、品質管理に取り組めます。

（1）種子生産計画の策定

県・関係機関と連携し、翌年の種子需要量見込、備蓄数量、一般栽培の販売動向などを総合的に勘案し「種子生産計画」を策定し、種子産地に配分します。

※ 令和8年産種子生産計画：別表1

〈主な事業〉

- ・ 種子生産計画の策定
- ・ 消毒種子量の算定
- ・ 種子生産者と採種ほ場面積の確保
- ・ 種子生産の県間調整



(2) 生育状況と生産見込数量の把握

ほ場確認等に参加し、種子生産ほ場での生育状況を現場確認し、必要な対策を助言指導するとともに生産見込数量の的確な把握に努めます。

また、他県の事例等を参考に産地におけるほ場確認方法（異品種ほ場隣接時の刈分け距離等）の平準化に取り組めます。

〈主な事業〉

- ・ ほ場確認方法の平準化の検討（異品種隣接ほ場の刈分け距離の見直し）
- ・ ほ場確認会の立会・確認

(3) 種子品質の確認・管理

種子検査見本品の作製・配付や調製程度確認会を開催するとともに産地における発芽試験結果の確認、備蓄種子の発芽試験等を行います。

特に今年度は、発芽試験の方法等を見直しを図り、種子産地における種子品質確認の平準化に取り組めます。

〈主な事業〉

- ・ 下見指導会、農産物検査の立会・確認
- ・ 麦発芽試験方法の見直し
- ・ 発芽試験結果の分析検討
- ・ 種子検査見本品の作製・配付と調製・出荷会議の開催
- ・ 交雑事故防止（追跡チェックシートの導入）

(4) 種子買上価格の算定

令和7年産から見直した算出方法（8月末に公表される概算金をベースに算定）に基づき、8年産種子の買上げ価格を決定、公表します。麦類・大豆については、今年度中に新たな算出方法を検討します。

〈主な事業〉

- ・ 稲種子生買上価格（8月提示、11月最終決定）
- ・ 麦類、大豆買上価格算出方法の検討

(5) 種子栽培技術の向上

各種研修会の開催、発生状況に即応した種子伝染性病害防除等への助成を適時・的確に行い、種子生産技術及び品質の向上を図ります。

また、種子栽培の慣行化による品質低下を防ぐため、チェックシートの確実な実施確認に取り組みます。

〈主な事業〉

- ・ チェックシートを活用した品質管理の徹底
- ・ 種子品質向上研修会や種子生産研修会の開催、栽培講習会への参加
- ・ 種子伝染性病害防除、品種転換ほ場の漏生対策（除草剤）への助成

(6) 種子事故防止

種子事故（交雑、コンタミ、発芽不良等）防止に向け、チェックシートを活用したリスク管理や2品種以上を作付する生産者等の出穂時（止葉）や種子センター搬入前のDNA検査を行うなど、種子事故を起こさないための取組を強化します。

〈主な事業〉

- ・ チェックシートを活用したリスク管理（交雑、コンタミ、発芽率）
- ・ 種子生産者の1品種作付け推進
- ・ 2品種以上作付者・隣接ほ場異品種時に係る追跡チェックシートの導入
- ・ 原種専用ネット使用の確認
- ・ 収穫機械等を起因とするコンタミ事故防止方法の検討
- ・ 稲種子DNA分析・調査の強化
- ・ 事故処理財源の確保（事故処理負担金）

※事故処理に備えて種子生産者から1円/kgを預かります。（事故がなければ返金）

(7) 備蓄管理

作柄不良や急激な需要拡大においても優良種子を安定して供給できるよう、関係機関・団体と連携し、種子の需要動向把握や適正規模の備蓄確保を行います。

また、販売ができなくなった残量種子を種子購入者から残量処理負担金を徴収して処分します。

〈主な事業〉

- ・ 計画的な種子の備蓄（備蓄を加味した種子生産量の算定）
- ・ 適正備蓄率の検討（県オリジナル品種、県間調整等）
- ・ 残量種子の処分（残量処理負担金）
 - ※ 残量処理財源として、稲・麦類・大豆の種子販売価格から 15 円/kg をご負担いただきます。
- ・ 備蓄種子の品質確保（低温保管、発芽率確認）

（８） 受検対策

受検対策会議を開催し、事前指導事項の徹底を図り、栃木米品質の高位平準化と円滑な受検の実施を図ります。

〈主な事業〉

- ・ 米受検対策会議の開催
- ・ 品質向上に向けた啓蒙チラシの作成配付

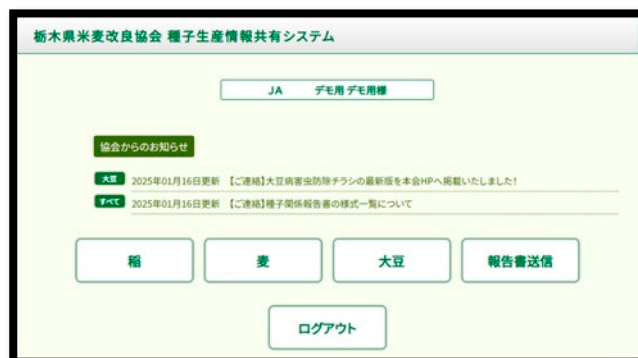
（９） 稲麦大豆（一般栽培）の生産振興

稲麦大豆の需要拡大に向け、栽培技術指導及び品質改善指導資料を作成、配付します。

また、安全・安心で高品質、高食味な稲麦大豆を生産するため、地域の生産者を対象に地方農業振興協議会が実施する各種講習会に助成します。

（10） 情報の共有化 & 発信

協会が独自に開発した「**種子情報システム**」を有効活用し、関係者による種子関連情報の即時共有化（チェックシート閲覧等）を図ります。また、協会情報紙「とちぎ米麦改良」の発刊・配付や協会ホームページの充実強化を図ります。



図：種子生産情報共有システム

2. 種子生産体制の強化

稲麦大豆の優良な種子が将来にわたって安定供給されるよう種子生産者や種子場JA、種子センター等の現状と課題を踏まえた種子生産体制強化に取り組みます。

また、関係機関・団体とともに他県の種子事故事例を調査し、リスク管理強化研究会を開催する等、本県での種子生産におけるリスク管理強化に努めて参ります。

〈検討事項〉

- ・ 種子センターの維持強化（計画的修繕と財源確保、職員の負担軽減）
- ・ 将来的な種子産地のあり方（県間調整、種子センターの相互利用の検討）
- ・ 種子事故事例の調査・研究（県外における過去の種子事例調査等）



Ⅲ. 令和8年度主な事業活動予定

次ページ

別表1 令和8(2026)年度主な事業活動予定

実施事業		事業活動の展開											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議・研修会	種子生産JA取扱会議	大豆○											
	種子生産計画会議	大豆○											
	種子事故事例研究会★					表○				稲○			
	種子センターあり方検討会												通年実施
リーダ－研修会	種子生産研修会												通年実施
	種子・調製出荷会議												通年実施
	米受検対策会議												通年実施
	種子生産者買上価格												通年実施
品質管理・確認	ほ場確認会												
	生産物確認会・検査・下見会												
	病害虫防除助成金交付												
リスク管理	混種事故防止対策												
	チェックシートの実施確認												
	事故処理												
備蓄種子	発芽調査												
	備蓄種子残量処理												
種子の栽培向上技術	技術指導資料作成配布												
	種子場JA交付金交付												
	振興協議会助成金交付												
情報発信	「とちぎ米麦改良」の発行												
	協会ホームページ												
協会運営	総会												
	理事会												
	幹事・事務局員会議												

★新規実施事業

別表1 令和8(2026)年産主要農作物種子生産計画(県内産)

種類	品種名	数 量 (t)			産地での 推進面積 (ha)	売上見込額 (税別・百万円)	注1
		8年産	7年産	前年産比			
主食米	コシヒカリ	832	832	100%	201	547	
	とちぎの星	621	435	143%	135	410	
	あさひの夢	48	206	23%	11	32	
	なすひかり	46	43	106%	10	30	
	夢ささら	1.8	1.2	147%	0.4	1.2	
	きぬはなもち	23	14	165%	6	15	
稲 計		1,572	1,532	103%	363	1,035	
六条大麦	シュンライ	80	103	78%	32	28	注2
二条大麦	ニューサチホゴールデン	660	692	95%	203	213	
	とちのいぶき	13	16	81%	4	4	
	もち絹香	19	26	72%	6	6	
	小計	691	735	94%	212	223	
小麦	さとのそら	41	50	83%	14	14	注3
	イワイノダイチ	59	48	124%	18	19	注4
	タマイズミ	26	38	69%	8	9	
	ゆめかおり	5	5	100%	2	2	
	小計	132	141	94%	42	44	
麦類 計		904	978	92%	287	295	
大豆	里のほほえみ	-	57	-	-	-	注5

注1) 売上金額は、生産計画数量に種子生産者価格を乗じた。

注2) シュンライは、上記の外数として5tを県外に生産委託し、令和8年産で85tを確保します。

注3) さとのそらは、上記の外数として25tを県外に生産委託し、令和8年産で66tを確保します。

注4) ゆめかおりは、上記の外数として20tを県外に生産委託し、令和8年産で25tを確保します。

注5) 大豆種子の生産数量は4月に決定します。

有機水稻	コシヒカリ	1.7	1.7	100%	1.3	-
------	-------	-----	-----	------	-----	---